

荒川地区地域活性化推進事業案について

アクションプラン掲載項目の具現化策意見（平成24年度の審議から）

テーマ1 地域資源（清流荒川等）を守り活かして、産業の活性化につなげていく具体的方策について

| |
|--|
| ① 清流荒川をPRするパンフレットの作成と配布 |
| ② 総合運動公園「ホタルの里づくり」で清流のイメージアップ |
| ③ まちぐるみで取り組む「鮭の稚魚 育成・放流事業」 |
| ④ 釣り客受入れ態勢（漁協や旅館などのサービス等）の改善～旅館に泊まった場合は釣り券を半額にするなど |
| ⑤ 「荒川米」の復活 |
| ⑥ 子どもが川で遊べるための取り組み（漁協、学校、PTAとの連携） |
| ⑦ 鮎の塩焼きや鮭のつかみ取りをさせるイベント |
| ⑧ 鮭文化を若い世代につなげていくような取り組み |
| ⑨ 食べ物に関係するイベント |
| ⑩ キラキラフェスティバルとタイアップさせる取り組み |
| ⑪ 高坪山で事業を検討してまちづくり協議会と連携する |
| ⑫ 清流荒川の鮎釣りや荒川大祭を結び付ける |
| テーマ1 以外 |
| ⑬ 機関車を駅前に移動させ、まちのシンボルに |

テーマ2 県立坂町病院の医療体制充実につながる取り組みについて

| |
|---|
| ① 病院内で病児保育ができるような取り組み |
| ② 坂町病院から地域住民に対する情報発信を促進し、地元からも情報が得られる仕組みづくり |
| ③ 地元住民との交流の機会をつくる（坂町病院の資料から） |
| ④ 地元行政と病院の職員連携組織をつくる |

テーマ3 住環境を向上させ、人が定着できるまちづくりを推進する取り組みについて

| |
|---------------------------------------|
| ① ウオロクの出店計画に関して、農産物直売所を有効に展開する方法を検討 |
| ② 「道の駅」のような施設の構想 |
| ③ ニュータウンくろっかす周辺で若い人たちが定住しやすいような開発を計画 |
| ④ 歴史ある家屋の保全に対する支援を検討 |
| ⑤ 国道沿い、商業地域、病院等を一体的に捉えた土地利用（宅地化）計画を検討 |
| ⑥ 荒川地区で病児保育を実施するための取り組み（県立坂町病院と連携） |

※大きな事業となるものは具体的な形の計画を策定して、地域一丸となって要望を行う

提案1

総合運動公園「ホタルの里づくり」実験

総合運動公園周辺にホタルが生育できる環境をつくり、幼虫を飼育してカナル等に放流する。ホタルが数多く飛ぶ公園が実現できれば、「清流を育む豊かな自然」として、あらかわ地区や農産物のイメージを高めることができ、総合運動公園にも新たな目的を創出することができる。

まず環境を調査し、経験者の意見を聞きながら、少量の幼虫の飼育、実験的な放流を行う。その後は、まちづくり協議会や有志グループの活動につなげていくなど、長いスパンでの実現を目指していく。

提案2

坂町病院内病児保育実現に向けた啓発

坂町病院活性化協議会などでの要望につなげていく取り組み。地域における病児保育の必要性、県立坂町病院内で実施する効果など、地域の認識を高めて声を集めていくことを目的として、先進地の視察、制度や事例の研修、講演会などに取り組む。上越の塚田先生（塚田子ども医院 病児保育室）のお話を聞く機会はぜひ設けたい。（坂町病院に勤務していたというつながりを活かす）

施設整備や運営費負担の問題など、実現のハードルはかなり高いと思われるが、県議会の厚生環境委員会では4月11日に塚田子ども医院を視察し、認識は高まっているタイミングだと思われる。

遊休市有地の宅地化活用については、人口減少対策として別途取り組まれる可能性あり